

新宿区議会だより

発行：新宿区議会

☎(3209)1111(代表) ☎160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス: <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>

No. 246

平成22年(2010年)7月25日発行

今号の主な内容

- 区政のここを問う!
定例会での代表・一般質問 3～5面
- 平成21年度政務調査費・
議長交際費内訳公開 6面
- 沖縄追悼式典に参加 7面
- 委員会の活動状況 8面
- 請願・陳情の審査結果 8面



▲6/16 神田川ファンクラブ
生き物、水質調査



▲7/7 打ち水大作戦(早稲田大学構内)
参加者にはアトム通貨のプレゼント



▲6/17
大久保公園
リニューアル
完成式典



▲大久保公園スポーツ広場
(バスケット、フットサルコート)

トップニュース

第2回定例会で可決した主な議案

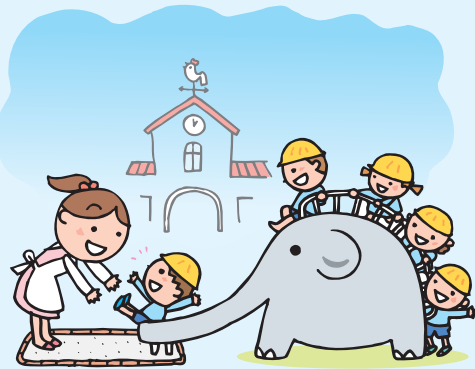
四谷保育園等改修工事請負契約などを可決

==四谷保育園増設、病児・病後児保育室新設及び四谷保健センターを改修==

今定例会では区長提出議案と議員提出議案合わせて27件の議案を審議しました。

- 下落合地域交流館を設置し、その管理を指定管理者に行なわせること。(平成23年4月1日施行)
下落合ことぶき館を廃止すること。
- 自転車等駐輪場を国立競技場駅に設置すること。(平成22年7月1日施行)
- 鶴巻図書館及び西落合図書館の管理を指定管理者に行わせ、開館時間を拡大すること。
(火曜日から金曜日午前9時～午後7時、土曜日、日曜日及び祝日午前9時～午後6時)
- 四谷保育園等改修工事請負契約 1億7,734万5千円
- 新宿区同報系防災無線デジタル化工事請負契約 7億1,925万円

(機器の老朽化に対応するとともに、音声の届かない地域の改善を図るため、2ヵ年にわたって同報系防災無線のデジタル化を行う).....関連記事2面



平成22年度補正予算案を可決

大久保第一保育園の耐震強化等の設計委託費などを予算化

==計画事業の実現に向け補正予算1億480万円を可決==

- 補正予算
 - ・ 多目的運動広場(旧東戸山中学校跡地)整備のための擁壁補強に伴う追加工事費 2,524万2千円
 - ・ 大久保第一保育園の耐震強化等設計委託、仮園舎設計委託費等 558万6千円
 - ・ 日本脳炎の予防接種費(対象者への積極的勧奨通知再開に伴う経費増) 6,750万7千円
 - ・ 大久保三丁目アパートの耐震強化等設計委託費 554万4千円



.....関連記事2面

今定例会で議決した

意見書

(要旨)

それぞれの全文は区議会ホームページをご覧頂
か、議会事務局までご連絡ください。

発達障がいや、その他文字を認識することに困
難のある児童生徒のためのマルチメディアディ
ジー教科書の普及促進を求める意見書

(財)日本障害者リハビリテーション協会が教科書をデジタル化対応
することで、テキスト文字に音声同期させて読むことを可能にし
たディジー教科書を提供している。

しかし、教科書無償給与の対象ではなく、製作に時間と費用を要
するにもかかわらず、ボランティア頼みであり、予算は縮減され、普
及促進の取り組みは不十分である。

必要とする児童生徒、担当教員等にディジー教科書を安定して
配布・提供できるように、その普及促進の体制整備、必要な予算措
置を国会及び政府に強く求めました。

未就職新卒者の支援策実施を求める意見書

大学等新卒予定者の就職内定率は、今年2月80%と過去最低と
なった。未就職新卒者の支援策として、次の項目を早急に実施する
よう国会及び政府に強く求めました。

1 大企業の「新卒優先採用」を見直し、卒業後3年間は「新卒」扱
いとするルールを企業、大学間で定めること。

2 大企業志向の学生と中小企業を結び「政府版中小企業就活
援ナビ」の拡充など、雇用のミスマッチを解消すること。

未利用国有地の地方自治体取得に優遇措置復活 を求める意見書

国は国有地等の売却先が地方自治体の場合、優遇措置を講じて
いたが、時価売買に変更した。

区では待機者が多い高齢者施設、保育所等の建設が喫緊の課題
であるが、都心部では土地の取得が難しく施設建設が困難となつて
いる。

国有地の地方自治体への売却には、優遇措置を復活するよう国
会及び政府に強く求めました。

JR高田馬場駅の抜本的な安全対策の実施を求 める意見書

JR高田馬場駅は1日平均乗車人員が山手線全駅中8番目に多
い大規模ターミナルだが、ホーム幅が狭く、人があふれ非常に危険な
状態である。

山手線全駅では可動式ホーム柵の設置が決定されたが、転落防止
にはなるが、抜本的解決策とはならない。こうした状況から、次の安
全対策を国会及び政府に強く求めました。

1 JR高田馬場駅の抜本的な安全対策を専門的見地から検討し実
施すること。

2 可動式ホーム柵を早期に設置すること。

※同様の内容を東日本旅客鉄道株式会社に要望しました。

西武新宿線高田馬場駅と中井駅区間の開かずの 踏み切りの解消を求める意見書

西武新宿線高田馬場駅と中井駅間には踏切が14ヶ所もあり、朝
の通勤時間帯には開かずの踏み切りとなり、住民から改善要望が出
されている。

連続立体交差とする都市計画の対象となっていない高田馬場駅
と中井駅間にも、地下化の促進、踏み切りシステムの見直し等の改
善を行うよう都に強く求めました。

議案の概要と審議結果 (賛成…○、反対…×)

○平成22年第2回定例会 (6月9日～6月18日)

会派略称 公明＝新宿区議会公明党
共産＝日本共産党新宿区議会議員団
新無ク＝新宿区議会無所属クラブ
花マル＝新宿区議会花マルクラブ
自民＝自由民主党新宿区議会議員団
民主＝民主党新宿区議会議員団
社会＝社会新宿区議会議員団

議案名		概要	公明	自民	共産	民主	新無ク	社会	花マル	議決
区長提出議案(20件)	予算(2件)	平成22年度新宿区一般会計補正予算(第2号)	補正予算額：2,524万2千円、補正後予算額：1,413億6,941万9千円 補正の理由：多目的運動広場等の整備(擁壁補強に伴う追加工事費)に要する経費等を計上	○	○	○	○	○	○	可決
		平成22年度新宿区一般会計補正予算(第3号)	補正予算額：7,954万5千円、補正後予算額：1,414億4,896万4千円 補正の理由：日本脳炎予防接種の実績増に伴う予防接種に要する経費、大久保三丁目アパートの耐震強化等設計委託に要する経費、大久保第一保育園の耐震強化等設計委託・仮園舎(設置場所：旧戸山中学校)設計委託に要する経費、新宿区社会福祉協議会の仮事務所(設置場所：旧戸山中学校)設計委託に要する経費等を計上	○	○	○	○	○	○	可決
	条例改正(15件)	新宿区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	「雇用保険法」の改正に伴い、引用条項を改める。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正等に伴い、所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	「国家公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律」の施行による「地方公務員の育児休業等に関する法律」の改正等に伴い、所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区特別区税条例の一部を改正する条例	「地方税法」等の改正に伴い、所要の改正を行う。 1 区たばこ税の税率を引き上げる。 2 16歳未満の者の一般扶養控除の廃止後も、区民税の非課税判定等を行うため、給与所得者及び公的年金等受給者に係る扶養親族申告書制度を導入する。 3 非課税口座内の上場株式等に係る譲渡所得等が非課税とされることに伴い、当該非課税所得を他の所得と区分して計算するための規定整備を行う。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区立地域交流館条例の一部を改正する条例	1 「下落合地域交流館」を設置するとともに、その管理を指定管理者に行わせる。 2 「新宿区立ことぶき館条例」の一部改正…「下落合ことぶき館」の規定を削除する。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区立児童館条例の一部を改正する条例	「富久町児童館」の管理を指定管理者に行わせる。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区学童クラブ条例の一部を改正する条例	「富久町学童クラブ」において、延長利用をすることができることとする。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区助産の実施又は母子保護の実施に係る費用徴収条例の一部を改正する条例	1 受益者負担の適正化を図るため、助産の実施及び母子保護の実施に係る費用の額の一部を改定する。 2 費用の算定の際に適用している「所得税法」等の改正に速やかに対応できるよう、適用関係に係る規定部分について、規則で定めることとする。	○	○	×	○	○	○	可決
		新宿区保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例	保育料の算定の際に適用している「所得税法」等の改正に速やかに対応できるよう、適用関係に係る規定部分について、規則で定めることとする。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区国民健康保険条例の一部を改正する条例	「国民健康保険法」及び「同法施行令」の改正に伴い、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に係る拠出金相当額及び交付金について、一般被保険者の基礎賦課総額算定上の基礎とする特例的取扱いを平成25年度まで延長する等、所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例の一部を改正する条例	「国立競技場駅自転車等駐輪場」を設置する。(霞ヶ丘町10)	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	1 大久保三丁目西地区地区計画の都市計画決定に伴い、条例の適用区域に「大久保三丁目西地区地区整備計画」の区域を追加し、区域内の建築物について制限事項(用途、敷地面積の最低限度、壁面の位置)を定める。 2 既存の建築物に対する制限の緩和を拡大する。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正等に伴い、所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区立の小学校、中学校及び特別支援学校の非常勤の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	「公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償の基準を定める政令」等の改正に合わせ、補償基礎額を改定する。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区立図書館条例の一部を改正する条例	1 「鶴巻図書館」及び「西落合図書館」の管理を指定管理者に行わせる。 2 「鶴巻図書館」及び「西落合図書館」の開館時間を拡大する。(午前10時から→午前9時から)	○	○	×	○	○	×	可決
	その他(3件)	新宿区立四谷保育園等改修工事請負契約	「新宿区立四谷保育園等改修工事」を施行する。	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区同報系防災無線デジタル化工事請負契約	「新宿区同報系防災無線デジタル化工事」を施行する。	○	○	○	○	○	○	可決
		(仮称)新宿区立子育て支援施設等建設建築工事請負契約の変更について	既存擁壁の補強に伴う追加工事の為、「(仮称)新宿区立子育て支援施設等建設建築工事請負契約」の契約金額を変更する。	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案(7件)	条例制定	新宿区特定家庭用機器廃棄物の排出に係る費用の助成に関する条例	区民の福祉向上を図るため、「生活保護法」による保護を受けている者等が排出する特定家庭用機器廃棄物に係る費用の助成に関し、必要な事項を定める。	×	×	○	×	×	棄権	否決
	意見書(5件)	発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童生徒のためのマルチメディアデジ教科書の普及促進を求める意見書	1面の『意見書(要旨)』をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	可決
		未就職新卒者の支援策実施を求める意見書		○	○	○	○	○	○	可決
		未利用国有地の地方自治体取得に優遇措置復活を求める意見書		○	○	○	○	○	○	可決
		JR高田馬場駅の抜本的な安全対策の実施を求める意見書		○	○	○	○	○	○	可決
		西武新宿線高田馬場駅と中井駅区間の開かずの踏み切りの解消を求める意見書		○	○	○	○	○	○	可決
	その他	JR高田馬場駅の抜本的な安全対策の実施を求める要望書		○	○	○	○	○	○	可決



6月8日に、教育評論家の尾木直樹氏を招いて、「新学習指導要領で授業はどう変わるか」について、議員研修会を開催しました。

講師は、海城高校や東京都公立中学校などの教師として、22年間子どもを主役としたユニークで創造的な教育実践を展開され、現在は、大学教授として、「臨床教育相談論」などの講演、テレビやラジオ出演、対談、新聞・雑誌等への執筆、著書の出版、教育相談、カウンセリング等、幅広く活躍されています。

講演では、読解力の大切さ、フィンランドなどの諸外国での取り組みや、全国の実地研修の実態や事例を取りあげながら、ご自身の経験談も交えて、教育全般について、分かりやすく丁寧にお話しされました。最後に、新学習指導要領の主な改訂点について説明され、熱意あふれる講演を締めくくりました。

参加した議員にとって、新しい学習指導要領について、これまで以上に関心を持ち、理解を深めるよい機会となりました。

議員研修会を開催

テーマ「新学習指導要領で授業はどう変わるか」

区政のこころを問う

古本屋支援について

自由民主党新宿区議会議員団 代表 佐原 たくし



佐原 たくし

質問 ①古本屋はまさしく地域資源であり新宿力を高める地域産業の一つ。古書組合の産業振興施策における位置づけと、活動への期待は。②古書店街のブランドを高めるには区内で定期的に青空市を開催することが望ましい。古書の青空市ができる場所の提供については。③古本業は区の「地域産業」と認識し、イベント事業に関連した機会の提供を。④地域産業に真摯に取り組んでいる団体に対しPR活動の助成を。



古本業は貴重な地域産業、古書店街の振興を！

回答 ①古書店街は、個性あふれる貴重な地域資源の一つ。活発な事業活動による魅力ある商店街づくりに期待。②区役所本

庁舎前スペースや区立大久保公園を活用した青空市の場の提供を検討。③イベント会場へ出店し、広くPRすることも有効な取り組み、区としても出店について働きかけていく。④PR活動の支援策について検討。

福祉施策データブックの高齢者福祉に関して

質問 ①福祉施策データブックのデータ等を踏まえ、当区の高齢者施策についてどう評価し、今後の取り組みに役立てていくのか。②高齢者クラブの会員数が減っていることについて、その原因、今後の取り組み等について。

回答 ①認知症高齢者のサービスや在宅療養を支援する医療連携の仕組みづくり、高齢者総合相談センターの機能強化、特別養護老人ホーム等の開設など地域のセーフティネットとしての基盤整備を着実に進めてきた。介護予防の推進は、その成果が要支援・要介護に陥るリスク軽減につながっている。今後こうしたデータ等も併せて高齢者施策のさらなる推進に生かしていく。②高齢者世代のライフスタイルや価値観の多様化によることが大きい。今後も魅力あるク

ラブづくりに取り組む。

確かな学力の育成に関する意識調査報告について

質問 ①意識調査の結果について、教育委員会としての見解は。②復習に取り組む生徒の割合が少ないのは。③確かな学力推進員の導入と忙しさの緩和は。④先生の事務量と一部の理不尽な要求をする保護者との関係についての区の現状は。今後の調査で取り上げる考えは。

回答 ①調査結果を踏まえ、成果を上げている学校の取り組みを各学校に広め、保護者・地域住民へより一層の公開や広報に努める。②部活動や学習塾等で



野もとあきとし

子宮頸がん予防ワクチン 公費助成について

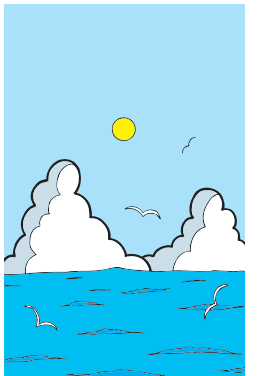
新宿区議会公明党 代表 野もとあきとし

質問 ①子宮頸がん予防ワクチン助成に対する区民からの要望は日毎に高まっている。公費助成について区長の英断を求める。

回答 ①区の財政状況を見極めた上で各種予防接種の優先度なども含め検討。

高齢者福祉サービスの充実について

質問 ①必要な時に介護職や看護師が駆けつけてサービスを提



復習に充てる時間が少なく、家庭での学習習慣が定着していないことも要因の一つ。③教員は推進員の導入の効果を実感している。小中学校とも70%を超えている。小中学校で発生している結果が肯定的な回答で一定の成果を上げている。④東京都教育委員会が20年9月に行った調査結果によれば、概ね9%程度の小中学校で発生している結果が出ており、本区も同様の事態にあると考えられる。今後の意識調査で取り上げる考えはないが、状況の把握に努めていく。

この他に、「中山区長二期目の総括」「区が所有する文化資源の把握と管理」について質問がありました。

子宮頸がん予防ワクチン 公費助成について

代表 野もとあきとし

供する、24時間随時訪問サービスの評価と導入の決意を伺う。②特別養護老人ホームの入所待機者は1月末で265人。待機上位者への事前調査の実施及び特別養護老人ホームを定期的・継続的に利用する制度の導入を検討しては。③「ほっと安心カフェ」の協働事業で築き上げたノウハウを活かし、幅広い区民が利用できるような更なる拡大を図るべきでは。

回答 ①必要不可欠と認識。第5期介護保険事業計画の策定の際は在宅サービスの強化のひとつ

つとして検討。②本人や家族の状況を把握しながら、一人ひとりきめ細かに行っている。多くの待機者がいる現状では、まず待機している方がスムーズに入所できることが大切。そこで、入所待機者の在宅介護を支えるためにショートステイや介護老人保健施設の短期・中期の入所サービスの利用を更に促進。③具体的な事業の方向性を検討する中で、類似事業との統合・拡充も視野に入れながら幅広い世代がともに支え合う地域づくりを進める。

うつ病対策について

質問 うつ病対策の取り組みについて。①区民にうつ病治療として注目を集める「認知行動療法」の普及を目指し周知すべきでは。②日常的に心の悩みを気軽に相談できる窓口の広報や周知が重要では。③「新宿こころ」といのちのセーフティネット」はわかりやすく整理され必要な情報が多く掲載されているが、区民の目にふれていない。全戸配布の必要があるのでは。④働く人のメンタルヘルスについて、現状の取り組みに関する状況や参加者の反応はどうか。将来を見据えた対策が必要と思われるが今後の取り組みは。

回答 ①この療法を実施している医療機関が少なく情報収集に努めている。区民の方からの相談を受ける中でご案内する。②今後保健センターが健康や病気に関して気軽に相談できる場所であることをわかりやすく周知。③区民に幅広く周知するためにホームページに掲載する等一層

の普及に努める。④講演会やリワーク講座、個別相談等を開催し大変好評。今年度は産業保健分野や医療機関、NPO等の関係機関とのネットワークづくりをしていく。

マルチメディアデジ版教科書の普及について

質問 ①教員への提供と障害の状況にに応じて在籍学年より下の教科書配布が可能になったがどうか。②学校や発達障害のある保護者への周知は。③デジ版教科書使用に当たっての支援体制は。



デジ版教科書のおかげで読むのが楽しくなったよ！

回答 ①発達障害に配慮した教材を用いた指導の充実を図る。②今後情報収集に当たるとともに効果的な活用事例を紹介していきたい。③学習効果をあげるためにはそれぞれのニーズに適

言葉の説明

マルチメディアデジ版教科書 通常の教科書では読むことが困難な児童、生徒用に開発されたパソコンで再生するもの（DVD仕様）。テキスト、音声、画像が同期し、テキストは読んでいる部分が反転する。文字の大きさ、二色などが変えられて、個性国際標準規格「DAISY規格」を採用。

した機器の選定と共にその活用方法の検討が重要。

この他に、「中山区政」「今後の経済動向と財政運営」「区役所の区民サービスの質の向

区民の安全と平和施策について

日本共産党新宿区議会議員団 代多 賢司



雨宮 武彦

質問 ① NPT(核不拡散条約)

再検討会議に働きかけるため、国際共同行動・ニューヨーク行動に参加してきた。核軍縮・核不拡散・核廃絶への行動計画を盛り込んだ最終合意文書をどのように受け止め評価しているか。

② 新宿区平和条例を制定し、系統的・持続的に取組を進展すべき。③ 学校教育の中で被爆体験や新宿区の空襲体験を語り継ぐとともに、DVD等に収録して図書館の平和ライブラリーの充実を。

④ 新宿御苑へのPAC3の配備中止と撤去を政府に要望し、今後訓練は実施しないよう政府・防衛省に申し入れること。連絡があった場合は事前に議会や区民に公表し、区として抗議すべき。

回答 ① 核兵器廃絶に向けて一定の成果があった。② 平和都市宣言を行っており、引き続き平和施策の充実力を入れる。③ ささまざまな教育活動の中で平和教育を進め、図書館では平和に関する資料を積極的に収集し、平和啓発事業を実施している。④ 訓練実施に当たっては区民の安全配慮を申し入れた。区民への公表は、国において説明責任

上」「待機児童の解消に果たす認証保育所の役割」「子ども園の推進」「在宅療養体制の整備」「新教育課程への取り組み」について質問がありました。

上」「待機児童の解消に果たす認証保育所の役割」「子ども園の推進」「在宅療養体制の整備」「新教育課程への取り組み」について質問がありました。



核兵器の廃絶と世界の平和を

を果たすべきもの。

子育て支援について

質問 ① どのように次世代育成支援計画目標を達成し、子育ての経済的支援を充実していくのか。② 子ども手当を巡る議論をどのように思うか。③ 小中学校の教材費や給食費の無料化を政府に求め、実施までは現行給食費の一部助成を増額すべき。④ 待機児童対策として、ベビーホテルの実態把握と利用者への保育料助成を検討すべき。

回答 ① 総合的な次世代支援施策を推進し、財源確保に努めながら充実を図る。② 国は自治体の意見を取り入れた制度設計を行うべき。③ 教育基本法は授業料を徴収しないもので、区の支援と給食費無料化は目的が異なる。④ 認可外保育施設の実態把握に努め、助成をどのようにすべきかを含めて検討する。

特別養護老人ホームの増設と介護保険施設への支援策を

質問 ① 特養ホーム待機者は1,000人を超える状況が続いており、区は公有地を洗い出し、国や都に提供を求めて建設を進めるべき。② 療養型病床抑制の方針転換と医療・介護の制度改善を国に対して求めるべき。③ 介護保険施設への支援として、医療処置に対応する人件費助成を夜勤対応が可能ないように充実し、老人保健施設も対象とすべき。④ 特養ホームの空きベッド対策の

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

外国人施策の在り方について

民主党新宿区議会議員団 代多 賢司



平間しのぶ

質問 区には大久保地域を中心に多くの外国の方が住む。国籍別にも116カ国になり、文化や言葉の違いで様々なトラブルが起きている。区はNPO等の団体や地域の方と連携し、多文化共生施策に取り組んでいる。平成18年ネットワーク連絡会を設置し情報の共有化を行っている。① (ア) 連絡会の開催計画と周知方法はどうしているのか。② 国は自治体の意見を取り入れた制度設計を行うべき。③ 教育基本法は授業料を徴収しないもので、区の支援と給食費無料化は目的が異なる。④ 認可外保育施設の実態把握に努め、助成をどのようにすべきかを含めて検討する。

回答 ① (ア) 連絡会は多文化共生プラザの利用者、支援団体等がメンバーで様々な分野で議論し

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

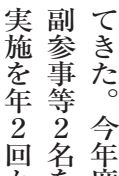
助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

助成をすることで、施設運営を助け区民の利用向上を。

新宿区の文化芸術振興について

民主党新宿区議会議員団 代多 賢司



平間しのぶ

質問 ① 区民の命と健康を守る施策「住まいの確保策」について質問がありました。

回答 ① 区民の命と健康を守る施策「住まいの確保策」について質問がありました。

芸術振興基本条例」を施行。文化芸術振興会議を設置して、調査・検討を行い、持続的・継続的な活動を推進するとある。① 助成が無い登録無形文化財にも一定の支援をすべきでは。② 文化芸術振興会議で具体的にどのような調査検討を行い、文化芸術振興につなげていくのか。

回答 ① 無形文化財への支援として発表の場を確保してきた。無形文化財は貴重な未来への遺産であり、登録無形文化財の財政的支援策も検討する。② 「新宿区文化芸術の振興に関する懇談会」の報告書が条例実現の具

体的な取り組みの方向性を示すものと考ええる。これを中心に調査検討し意見をいただき、文化芸術の振興につなげていく。

登録無形文化財にも助成を

内藤とうがらしの復活について

新宿区議会無所属クラブ 代多 賢司



根本 二郎

質問 ① 江戸野菜「内藤とうがらし」復活の取り組みは新宿の歴史を知る上で大変貴重。いかがか。② 学校でも取り組みを。③ 地域おこしのシンボルとして区長は先頭に立ち復活の普及を。

回答 ① 江戸時代の新宿の「土地の記憶」を甦らせ共有していく素晴らしい取り組みである。② 情操教育や環境教育の一翼を担うもの。必要に応じ紹介する。



内藤とうがらしをピリッと効かせて、新宿の歴史に思いを馳せる



登録無形文化財にも助成を

言葉の説明

内藤とうがらし

家康に先立ち鉄砲隊を率いて江戸入りした家臣、内藤清成が家の敷地(新宿御苑周辺)で栽培を始めたもの。七色とうがらしとして親しまれてきた。

近年は江戸東京野菜の一つとして、四谷地区を中心に復活の試みがされ、食材や鑑賞用として地域の方に苗を配って普及を進めている。

ドギーバッグ

(一般質問 新無ク のづ議員)

レストラン等で食べきれなかった料理を持ち帰るための容器のこと。

農林水産省が食料自給率向上に向けて提唱する「FOOD ACTION NIPPON」の中で、食べ残しを減らすための具体的な方策の一つとして「ドギーバッグ」での料理の持ち帰りを挙げている。

新宿御苑での自衛隊の軍事訓練に 毅然とした対処を

社会新宿区議会議員団

代参質問



山田敏行

果たすべき。③防衛省設置法の教育訓練と説明を受け、その認識。

質問 新宿御苑での自衛隊の軍事訓練で①防衛省の事前説明の際、区長は無条件で容認したのか。②住民へ情報提供を行わないことを容認したのか。秘密裏に実施するやり方をどう思うか。③何を根拠に軍事訓練するかが重要。防衛省にどう確かめ、どう理解しているのか。

答弁 ①区民の安全に十分配慮と申し入れ。②国が説明責任を



新宿御苑で軍事訓練を行わないで！

新宿WEバスの撤退と選挙管理委員の報酬の見直しを

新宿区議会花マルクラブ

代参質問



なす雅之

質問 ①新宿WEバスの利用率を高めることより、早期に撤退する方針に変更すべき。②選挙管理委員の報酬について、(ア)現行報酬は妥当か。(イ)いつごろ改正したいと考えるのか。今定例会に条例改正を提案すべきでは。

答弁 ①運行事業者が継続的に



適正な委員報酬を！

一般質問



自民 ひやま真一

(仮称)NPOふれあいひろばについて

質問 ①ひろばで行う事業内容と地域の方への周知や理解は。②施設の運営主体は。③事業成果の情報提供、実績の周知は。④区

民とNPO団体相互に果たす役割は。
答弁 ①会議室等の貸出し、NPO活動の相談・情報提供、イベント開催など。交流事業等を実施し周知・理解を求める。②指定管理者として管理運営。③イベントを企画し実績報告。④顔が見える関係、協働の拠点の役割。



公明 くまがい澄子

人とペットの共生社会実現への取組み

質問 ①高齢者とペットの共生は。②飼育マナーの啓発と講習会の実施を検討しては。③ペットが遊べる公園づくりへの取



共産 近藤なつ子

保育園の待機児童解消等について

質問 ①潜在的な待機児童を視野に入れた認可保育園増園計画をつくるべき。②戸山第三保育園を廃園にして待機児童ゼロの



民主 おのけん一郎

子宮頸がんの予防について

質問 ①子宮頸がん予防ワクチンが認可されたが、今後助成の計画はあるか。②今までの区民への啓発や周知活動と今後の活



新無ク のづたけし

「ドギーバッグ」の普及促進について

質問 わが国の食料自給率は極めて低い。①食品廃棄物削減のため区としても「ドギーバッグ」の普及促進を提唱してはどうか。



社会 かわの達男

戸山宿舎周辺の人体標準発掘調査を

質問 国は調査のための予算を計上したが、①厚生労働省と区で何が話し合われたのか。②この土地は尾張藩の下屋敷跡である。



組みを。

答弁 ①共生できる社会づくりの実現を検討。②ボランティアとの協働で「マナー講習会」の開催を検討。③犬を含めたペットと共生できる公園づくりに取り組み公園が魅力ある身近な存在として利用されるよう努める。

答弁 ①潜在的保育需要にも対応していると考えている。②待機児童がほとんど発生していない戸山地域内の拡充になる。③地域説明会は予定していない。

答弁 ①国、都の動向を踏まえ予防接種の優先度等検討。②がん検診対象者へのお知らせや検査方法掲載の検診手帳配布等で周知。今後はHPや広報で。③資料提供し学習できるようにしていく。

答弁 ①料理は残さないことを心がけ、余った料理は持ち帰るという意識を啓発することで削減に取り組む。②安全上給食の持ち帰りをさせていないが、食の大切さの指導を充実させる。

文化財の保護等の点から区の対応は。また、調査は公開で行うべき。③総合運動場の整備計画は。④4者で意見交換。⑤遺跡の保護・保存が図られることと、十分な調査を行うよう申し入れ。③調査結果を踏まえ、再検討。



自民 下村治生

高層マンションの防災対策について

質問 ①高層マンションの防災調査を。②西戸山タワーホームズの取組みをモデルケースに対策を。③エレベータ事業者との連携強



公明 中村しんいち

新宿区の環境清掃事業について

質問 ①2010年のCO₂削減目標に向けて、現在の達成感。②資源回収について、区民の励みになる情報公開の工夫をしては。



共産 田中のりひで

高齢者への経済的支援の拡充を

質問 ①シルバーパス制度は、本人負担額の段階設定や引き下げを都に要求するとともに、実現までは区が一部助成を。②後



民主 小野きみ子

タヌキの森の違法建築の今後と再発防止について

質問 ①建築審査会まかせの違反は正の終点は何時になるのか。②建築審査会の議事録を区民が



新無ク えのき秀隆

学校のICT化について

質問 ①ICT化事業目的の達成度合いへの認識は。デメリットにどう対応するのか。②黒板等の位置を高く、教壇を設置する



化は。④容積率の緩和要件に防災倉庫の設置等を入れるべき。

答弁 ①調査を行い防災対策や協力体制を検討。②先進的事例として取り上げ、対策を講じる。③保守要員の確保や復旧体制整備の要請、研修への参加。④容積率緩和要件の見直しを検討。③乾電池の資源拠点での回収の検討が必要では。

答弁 ①世帯数や業務床面積の増加により厳しいものと認識。②具体的な成果について、励みとなるように区広報等でお知らせしていく。③回収経費や回収拠点等の課題を含めて検討。

期高齢者医療の入院時負担軽減支援金の制度周知と支援額の引き上げを。③支援制度は後期高齢者医療制度見直し後も存続を。

答弁 ①所得に応じた設定を今後も要望していく。②区独自施策を積極的に周知していく。③明らかにった時点で判断する。読んで分かるものに。③安全認定に住民の意見を聴く仕組みを。④民間開発計画等連絡調整検討会という組織の明確な位置づけを。

答弁 ①是正計画の報告がなく完了時期を明確にできない。②改善する。③検討する。④再発防止に設置要綱を定める。べき。③利便性向上のため黒板と机は大きくするべき。

答弁 ①3年計画のICT環境整備後効果が現れるものと考ええる。モラルの問題等情報教育を推進する。②黒板等見やすく設置し、教壇は今後検討する。③黒板は変更困難。机は更新時考える。

会派略称：

公 明＝新宿区議会公明党
自 民＝自由民主党新宿区議会議員団

共 産＝日本共産党新宿区議会議員団
民 主＝民主党新宿区議会議員団

新無ク＝新宿区議会無所属クラブ
社 会＝社会新宿区議会議員団

花マル＝新宿区議会花マルクラブ

平成21年度

政務調査費の収支報告をお知らせします

平成21年度 政務調査費収支一覧〔平成21年4月～平成22年3月〕

単位(円)

会 派 名	会派人数	収入	支 出							支出合計	主な使途
			調査研究費	研修費	会議費	資料費	広報費	事務費	人件費		
新宿区議会公明党	9人	16,200,000	1,080	500	5,500	646,407	6,434,950	1,328,788	0	8,417,225	資料購入経費、広報紙発行経費など
自由民主党新宿区議会議員団	※8人	15,000,000	991,834	416,740	0	855,301	6,396,308	2,319,817	4,020,000	15,000,000	調査研究交通費、資料購入経費、広報紙発行経費など
日本共産党新宿区議会議員団	8人	14,400,000	109,490	7,500	0	615,878	7,910,738	1,113,690	4,218,373	13,975,669	区政アンケート関連経費、資料購入経費、広報紙発行経費など
民主党新宿区議会議員団	6人	10,800,000	815,752	41,120	20,248	338,860	7,529,146	1,029,674	1,025,200	10,800,000	調査研究交通費、資料購入経費、広報紙発行経費など
新宿区議会無所属クラブ	3人	5,400,000	92,506	89,353	0	1,000	5,040,536	176,605	0	5,400,000	調査研究交通費、研修会参加経費、広報紙発行経費など
社会党新宿区議会議員団	2人	3,600,000	239,750	164,290	18,050	135,931	2,005,149	953,064	0	3,516,234	調査研究交通費、資料購入経費、広報紙発行経費など
新宿区議会花マルクラブ	1人	1,800,000	23,100	86,786	0	27,520	848,654	723,940	90,000	1,800,000	研修会参加経費、資料購入経費、広報紙発行経費など
合 計	37人	67,200,000	2,273,512	806,289	43,798	2,620,897	36,165,481	7,645,578	9,353,573	58,909,128	

◎収入…月額15万円に会派の人数を乗じた金額です。(年度末の時点で、交付された政務調査費に残額が生じた場合は、区に返還します。)
※自由民主党新宿区議会議員団の会派人数は、4～7月は9人、8～3月は8人です。

政務調査費は、次の使途に用いることはできません。

- 1 政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人の利益のために要する経費としての支出
- 2 日当(1日あたりの決まった手当て)としての支出
- 3 寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出
- 4 交際費に要する経費への支出(結婚式の祝い金、香料、見舞金等)

平成21年度

議長交際費支出状況を公表します

〔平成21年4月～平成22年3月〕

単位(円)

- 議長交際費とは
議長が議会を代表して各種行事や接遇関係など対外的な活動をするために要する経費です。
- 毎月の執行額については
平成17年4月分から区議会ホームページで、ご覧になれます。

支出項目 支出先	会 費		見舞い		弔 慰		接 遇		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
町 会	4	40,000	0	0	1	5,000	0	0	5	45,000
地 域 団 体	6	32,000	0	0	0	0	0	0	6	32,000
商 店 会	3	30,000	0	0	0	0	0	0	3	30,000
各種関係団体	37	311,500	0	0	0	0	0	0	37	311,500
そ の 他	6	37,000	0	0	5	50,000	0	0	11	87,000
合 計	56	450,500	0	0	6	55,000	0	0	62	505,500

他都市からの視察・訪問

新宿区には全国の自治体の議会(委員会・会派・議員)が、施策の調査のため視察に訪れています。下の表は、今年前半(平成22年1月～6月)に視察のあった自治体の議会とその調査内容です。

視察日	議会名	調査内容
1月14日	東京都板橋区議会	高齢者への入院時負担軽減支援金支給事業 国保の資格証明書発行と保険料減免
19日	埼玉県所沢市議会	生活保護自立支援プログラムの取り組み
20日	宮城県富谷町議会	政治倫理条例
21日	岡山県玉野市議会	地区協議会の運営
28日	愛知県刈谷市議会	幼保一元化
28日	東京都豊島区議会	四谷子ども園
2月9日	愛知県岡崎市議会	ひきこもりセーフティネット事業
20日	大阪府泉大津市議会	四谷子ども園
4月19日	福岡県古賀市議会	父子家庭手当
26日	兵庫県三田市議会	自治基本条例策定に向けた取り組み

「自治基本条例策定に向けた取り組み」



区民の声を聴くための「自治基本条例区民討議会」の様子



戦後65年の節目の年 沖縄全戦没者追悼式に参加しました

沖縄県では、今年も6月23日「沖縄全戦没者追悼式」が糸満市摩文仁の平和祈念公園で行われました。

新宿区は「平和都市宣言」を行っている自治体として様々な平和事業に取り組んでいます。新宿区議会としてもその取り組みの一環として、毎年6月23日、沖縄県が主催して行われる「沖縄全戦没者追悼式」に代表を派遣しています。

今年も、久保合介、松ヶ谷まさお、宮坂俊文、野もとあきとしの4人の議員が派遣されました。代表の4人は、式典会場に向かう途中、ひめゆりの塔近くにある「東京之塔」で献花を行った(写真)後、式典に参加しました。

今年も、軍民合わせ20万人以上が犠牲になった沖縄戦終結から65年目の節目の年です。

今年も、軍民合わせ20万人以上が犠牲になった沖縄戦終結から65年目の節目の年です。



東京都関係者の南方地域戦没者慰霊碑「東京之塔」で献花を行う

式典では、仲井眞沖縄県知事が平和宣言で「奇しくもちょうど50年前の今日、日米安全保障条約と日米地位協定が発効しました。この大きな節目の年を契機として、沖縄の過重な基地負担が、県民の目に見える形で軽減されることを願ってやみません。」と述べられました。

また、高嶺沖縄県議会議長の式辞には「県民頭越しの日米共同声明や政府方針として閣議決定された普天間飛行場の名護市辺野古移設については、県民から撤回を求める声が大きくなっております。」との指摘もありました。

そして、多くの参加者の涙を誘ったのが、普天間飛行場が大きく横たわる宜野湾市で生まれ育った高校三年生の名嘉司央里さんの、基地が日々の生活に溶け込んでいることへの違和感を表現した「変えてゆく」と題した詩の朗読でした。

「一度あった事は二度ある」そんな言葉を聞いたことがある。しかし、こんな悲惨な出来事はもう繰り返してはならない。だから、「一度あった事は二度とない」に変えてゆく。平和で塗りつぶしていく。

この詩の結びは、平和への意識の向上を改めて参加者の心に刻んだものでした。

新宿区議会ホームページもご覧ください

区議会のインターネット中継(生中継・録画)、会議録の検索のほか、議会の予定や、議員の名簿、請願・陳情、意見書の全文などもご覧いただくことができます。

なお、特別出張所等で区議会の日程表を配布しています。



地方都市視察報告

自治・地方分権特別委員会では、平成22年5月6日～8日に北海道旭川市と石狩市の各市議会の視察を実施しました。

◎調査テーマ

旭川市：市民参加推進条例について
石狩市：自治基本条例、市民の声を活かす条例について

【北海道 旭川市】

①旭川市概要

主要国道4本、JR4線の終始点となっているほか、平成2年に道央自動車道が開通、さらに平成9年旭川空港二千五百m滑走路が供用開始され北海道の中核都市「旭川市」になりました。面積は、747km²、人口約36万人。

②5月6日の視察では、平成15年4月に施行され、3度の改正を行い現在に至っている「市民参加推進条例」について活発な質疑が行われました。

平成15年度を皮切りに、毎年10数件の意見提出手続き(パブリックコメント)が行われた中で、
・その効果
・原案の具体的な見直し状況に

ついて

・地域自治のあり方
・住民投票ではなく、なぜ市民投票なのか
などの質疑を行いました。視察時間を大幅に超過しましたが、市職員の熱心な回答をいただきました。

【北海道 石狩市】

①石狩市概要

札幌市の北に位置し、石狩湾を臨む水に恵まれた環境にあり、近年は、石狩湾新港をベースにした国際的な文化・経済の拠点としてめざましい発展を遂げています。面積は、721km²、人口約6万人。

②5月7日の視察では、自治基本条例、市民の声を活かす条例についての制定過程等の説明を



石狩市議会本会議場を視察

受け、質疑を行いました。主な内容は以下のとおりです。
・市民の声を活かす条例制定後の市民や職員の意識の変化について
・自治基本条例における議会の役割と責務
・「みんなでつくる自治基本条例市民会議」のあり方
質疑終了後、本会議場を見学しましたが、コンパクトで洗練された印象の議場でした。今回の両市の貴重な視察とおし、(仮称)新宿区自治基本条例の制定に向けて更に議論を深めていくことを確認しました。

平成22年 第3回 定例会のお知らせ

★9月16日から10月14日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本会議 9月16日(代表質問)
17日(代表質問・一般質問、議案の提案説明等)
10月14日(議案の採決、意見書・決議の採決等)

決算特別委員会 9月21日～10月4日
(平成21年度 各会計決算審査)

常任委員会 10月6日(議案、請願・陳情の審査等)
7日(議案、請願・陳情の審査等)

特別委員会 10月8日・12日(調査事項の調査等)

★ぜひ傍聴にいらしてください。(区役所5階)
★手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。
事前に議会事務局(TEL5273-3534)までご連絡ください。

委員会の動き

補正予算2件を含む議案9件と

陳情12件を審査

総務区民委員会

●今定例会は、議案9件と陳情12件を審査しました。議案は審査の結果、いずれも全員賛成で可決されました。「新宿区特別区税条例の一部を改正する条例」については「個人の株式会社市場への参加促進や本来入るべき区の収入が減るのは疑問」との意見がありました。補正予算については、旧東戸山中学校跡地活用施設のための擁壁補強に伴うもので、「計画段階で調査が不足していたのでは」必要な補強で進めてもらいたい等の意見が出されました。

日本脳炎予防接種等の補正予算可決 戸山第三保育園に陳情は継続に

福祉健康委員会

- 今定例会では、①下落合「ことぶき館」を「地域交流館」にし指定管理者制度にする条例
- ②富久町児童館を指定管理者制度にする条例
- ③富久町学童クラブで利用延長を可能にする条例
- ④母子保護施設等の利用者の費用負担を引き上げる条例
- ⑤国の法改正に速やかに対応して保育所保育料を算定できるよう規則を定める条例
- ⑥国民健康保険財政安定化事業等の特例扱いを平成25年まで延長する条例
- ⑦日本脳炎予防接種再開等

補正予算など3件の議案と

新規2件の陳情を審査

環境建設委員会

●今定例会では、第66号議案「新宿区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」、一般会計補正予算1件、議員提出議案第15号「新宿区特定家庭用機器廃棄物の排出に係る費用の助成に関する条例」、新しく提出された2件の陳情を含む34件の陳情の審査及び「新宿区魅力ある身近な公園づくり基本方針の策定について」など3件の報告を受け、質疑を行いました。

●第66号議案と補正予算については全員が賛成し原案通り可決しました。議員提出議案については、賛成少数で否決となりました。

●新たに提出された2件の陳情については現地調査を行い、審査しました。その結果、「JR高田馬場駅の抜本的な安全対策の実施に関する意見書等の採択を求める陳情」については採択しました。「神楽坂通り沿道・1・5丁目地区町づくり協定に協定区域の除外を」とめる陳情については、今はまだ住民間で調整をする段階ということから、住民間の話し合いを見守るということで継続審査とすることにし、結果として、33件の陳情を継続扱いにすることにしました。

幼保連携園から、認定子ども園へ 「あいじつ子ども園」がスタート！

文教委員会

●今定例会では、幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例改正など3件の議案を審査しました。鶴巻・西落合図書館に指定管理者制度を導入し、開館時間を拡大する条例改正は賛成多数で、その他の2件は賛成全員で可決されました。



あいじつ子ども園開園記念式典

意見書5件と要望書1件の提出を とりまとめました

議会運営委員会

議会運営委員会は、定例会の会期や日程事項、質問者の順序の調整など、円滑な議会の運営を行うために、議会運営全般について協議し、意見調整を図るために設置された委員会です。

また、区民生活にとって重要なことでも、それが国

今定例会では協議の結果、5件の「意見書」をとりまとめ、国や都に提出することと、また、JR東日本に対しては「要望書」を提出することに決定しました。

今後とも区民生活の向上にむけ、区議会として国や都などに対して発信し、問題の解決を求めていきます。

大久保公園がリニール スポーツと文化発信の公園に

防災等安全対策特別委員会

●自転車等の適正利用の推進及び駐輪場の整備に関する条例の改正案は地下鉄大江戸線国立競技場駅前に新たな駐輪場を設置するもので、定期利用の状況を見ながら、将来的には一時利用も検討するようという意見も出され、可決されました。

●報告事項では大久保公園（シアターパーク）の完成報告がありました。バスケットボールとフットサルを中心にスポーツ専用部分と特設テント劇場による文化発信の整備に加え、ヤマ形

無作為で選ばれた60名による 「区民討議会」を開催

自治・地方分権特別委員会

●「三者検討連絡会議」による「自治基本条例」骨子案がほぼまとまり、6月19、20日午前10時から午後5時まで「区民討議会」を開きました。

無作為により18歳以上の区内在住者150名に参加依頼。156名が応募。公開抽選で60名の方が選ばれました。



より多くの区民の声を聴く

「(仮称)自治基本条例における、議会の設置、議会の責務について」質疑！

議会・行政改革特別委員会

●最初に、自治基本条例検討小委員会の皆さんに、委員外議員として小委員長他

例制定のスケジュール案について「の説明を受け、質疑を行いました」。

「区民案には、しなやかでなければならない」となっているが義務ではなく自発的なものではないか」「この条例ができることにより、区政や議会がどう変わるのか」が大切等、質疑されました。

●その後、当委員会として、は、どのように議会改革、

皆様から託された 請願・陳情の審査結果

- 環境建設委員会
JR高田馬場駅の抜本的な安全対策の実施に関する意見書等の採択を求める陳情
継続審査となったもの 67件 (新たに提出された5件のみ記載)
- 総務区民委員会
四谷地区再開発計画の一部として解体を予定している「旧四谷第三小学校」の施設活用の見直しに関する陳情
- 福祉健康委員会
新宿区の待機児童解消のために認可保育園増設の陳情
- つくし保育園認可化陳情採択を実現するための陳情
- 新宿区立信濃町保育園分園の延長と対象年齢の引き上げに関する陳情
- 環境建設委員会
神楽坂通り沿道・1・5丁目地区町づくり協定に協定区域の除外をもとめる陳情
審議未了となったもの 2件
- 総務区民委員会
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することについての陳情
- 改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情
- 撤回が承認されたもの 1件
- 福祉健康委員会
信濃町保育園分園に関する陳情

あしがき

平成22年第2回定例会の記事を中心にまとめた議会だよりをお届けします。

本紙についてご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。暑さ厳しき折、健康に気をつけてお過ごしください。